

日本センチュリー交響楽団

びわ湖定期公演 Vol.15

びわ湖のクリスマス
憂いどロマンのチャイコフスキー

～オール・チャイコフスキー・プログラム～

ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 作品23

P. I. Tchaikovsky: Concerto for Piano and Orchestra No. 1 in B-flat minor, Op. 23

交響曲 第4番 へ短調 作品36

P. I. Tchaikovsky: Symphony No. 4 in F minor, Op. 36

円熟の極み

日本センチュリー交響楽団
ミュージックアドバイザー

指揮：秋山 和慶

Kazuyoshi Akiyama / Conductor

リーズ国際ピアノコンクール第2位
羽ばたく気鋭ピアニスト

ピアノ：小林 海都

Kaito Kobayashi / Piano

©Hitoshi Fukutani

2022.12.25(日)

15:00 開演(14:00 開場) 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 大ホール

S席 4,500円 / A席 3,500円 / B席 2,500円 / 車椅子席 1,500円 (税込・全席指定)

※センチュリー会員・びわ湖ホール友の会会員は全席種500円引き(車椅子席除く) ※未就学児童の入場不可。 ※車椅子席は(びわ湖ホールチケットセンター(電話・窓口))のみでの取り扱い

一般発売

9月5日(月) 10:00～

センチュリー会員先行予約・びわ湖ホール友の会優先発売

※電話及びネットチケット受付のみ

9月2日(金) 10:00～

チケットのお求め

センチュリー・チケットサービス — TEL:06-6848-3311(平日10:00-18:00)
<https://www.century-orchestra.jp/ticket/>

びわ湖ホールチケットセンター — TEL:077-523-7136(10:00-19:00火曜休館・休日の場合は翌日)
<https://www.biwako-hall.or.jp/>

チケットぴあ — <https://t.pia.jp/> (Pコード:208-086)

イープラス — <https://eplus.jp/>

ローソンチケット — <https://l-tike.com/> (Lコード:55901)

チケットのお求めは
こちらからどうぞ!



日本センチュリー

検索



日本センチュリー交響楽団 びわ湖定期公演 Vol.15

年に一度の“センチュリーびわ湖定期公演”。日本センチュリー交響楽団が絶大な信頼を寄せる名匠・秋山和慶ミュージックアドバイザーと、チャイコフスキープログラムをお贈りいたします。

ソリストには2021年、リーズ国際ピアノコンクールで46年ぶりに日本人歴代最高位の第2位を受賞した、新鋭ピアニストの小林海都さんをお迎えします。冒頭から印象的な主題による重厚で輝かしいピアノが登場します。そして交響曲 第4番、こちらも一度聴くと忘れられない管楽器によるファンファーレから始まります。チャイコフスキーの憂いとロマンに溢れた、オーケストラの醍醐味が随所に感じられる大作です。是非センチュリーと一緒に、びわ湖ホールで素敵なクリスマスを過ごしませんか。



指揮：**秋山 和慶** (日本センチュリー交響楽団 ミュージックアドバイザー) Kazuyoshi Akiyama / Conductor

1941年生まれ。齋藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年2月に東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。その間、トロント響副指揮者、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキウス響音楽監督、大阪フィル首席、札幌響首席、広島響首席、九州響首席などを歴任。サンフランシスコ響、クリーヴランド管、ロサンゼルス・フィル、フィラデルフィア管、ニューヨーク・フィル、ボストン響、シカゴ響、ロイヤル・フィル、NDR北ドイツ放送響、ケルン放送響、ベルリン放送響、スイス・ロマン管、チューリッヒ・トーンハレ管などに客演している。これまでに第6回サントリー音楽賞(1975年)、芸術選奨文部大臣賞(1995年)、大阪府民劇場賞(1989年)、大阪芸術賞(1991年)、第36回川崎市文化賞(2007年)、広島市民賞(2008年)をはじめ、東京響とともに毎日芸術賞(1994年)、第8回京都音楽賞大賞(1993年)、モービル音楽賞(1996年)、第29回サントリー音楽賞(1997年)を受賞。2001年11月に紫綬褒章、2011年6月には旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出。同年中国文化賞(広島)、徳島県表彰特別功労賞を受賞、2015年渡邊暁雄音楽基金特別賞を受賞。

2014年指揮者生活50年を迎え、2015年2月には回想録「ところで、きょう指揮したのは?」(共著/アルテスパブリッシング刊)を出版。現在、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者、日本センチュリー交響楽団ミュージックアドバイザー、岡山フィルハーモニック管弦楽団ミュージックアドバイザー、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者など多くの任を務めるほか、洗足学園音楽大学芸術監督・特別教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。



ピアノ：**小林 海都** Kaito Kobayashi / Piano

2021年9月にイギリスで行われたリーズ国際ピアノコンクールにて46年ぶりの日本人歴代最高位の第2位及びヤルタ・メニューイン賞(最優秀室内楽演奏賞)を受賞。その他ドイツのエトリンゲン国際青少年ピアノコンクールのカテゴリーB(20歳以下の部)にて歴代最年少優勝及びハイドン賞、ポルトガルのサンタ・チチーリア国際ピアノコンクールにて第3位、東京音楽コンクール第2位、松方ホール音楽賞などの受賞歴を持つ。高校在学中に日本で行われたマリア・ジョアン・ピリス氏のワークショップにおいて留学を強く勧められ、高校卒業後に渡欧。ベルギーのエリザベト王妃音楽院にてピリス氏に師事。同氏の若手育成プロジェクトの一員としてこれまでにイタリア、モロッコ、日本でのコンサートツアーを行った他、ポルトガルのベルガイシュ村での収録にも携わった。またオーギュスタン・デュメイ氏とも共演を重ねるなど、室内楽にも積極的に取り組んでいる。NHK交響楽団をはじめ国内のオーケストラ、さらには海外でもベルギー国立管弦楽団、バーゼル交響楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団など多数のオーケストラと共演。中学生よりヤマハマスタークラス特別コースに在籍し、上野学園高等学校音楽科演奏家コースを待生として卒業。現在バーゼル音楽院にてクラウディオ・マルティネス＝メナーのもとで研鑽を積む。これまでにピアノをマリア・ジョアン・ピリス、湯口美和、故ヴェラ・ゴルノスタエヴァ、横山幸雄、田部京子の各氏に師事。2014年・2015年ロームミュージックファンデーション奨学生。江副記念リクルート財団第45・48回生。

管弦楽：**日本センチュリー交響楽団** 街に響く。心に届く。 Japan Century Symphony Orchestra

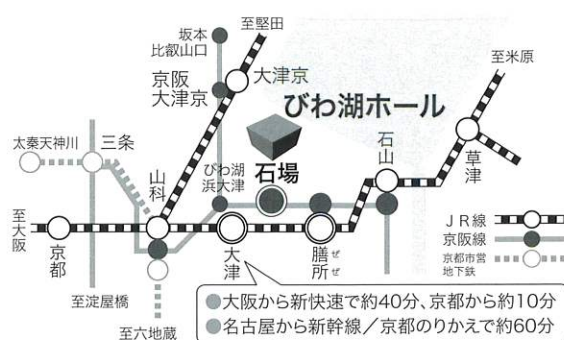
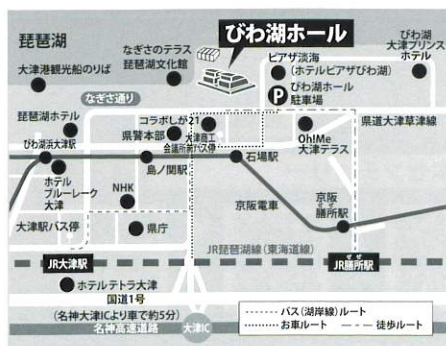


日本センチュリー交響楽団は1989年に活動を開始し、2019年に楽団創立30周年を迎えた。現在は50名のメンバーが在籍。飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザーを務め、2021年4月より久石譲が首席客演指揮者に就任。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。2度にわたり大阪府文化祭奨励賞を受賞する(2015年度、2018年度)など、演奏活動は高い評価を得ている。

オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」、ユースオーケストラの運営といった教育プログラム、「豊中まちなかクラシック」(豊中市)、「ルシオール街かどコンサート」(滋賀県守山市)等の地域連携事業にも力を入れている。

「優れた演奏により地域の力を発信する」「オーケストラによる感動と癒しを提供する」「優れた才能を発掘し次世代の育成に寄与する」「国際相互理解や平和に積極的に貢献する」の4つの理念をもとに、演奏を通して多くの人々の心に明るい夢が広がることを願い、新しい時代のオーケストラとしての発展を目指し活動している。

オフィシャルホームページ <https://www.century-orchestra.jp/>



びわ湖ホールへの交通のご案内

- JR琵琶湖線(東海道本線)「大津」駅より徒歩約20分またはバス(湖岸線)約5分(大津商工会議所前下車、徒歩約4分)
- JR琵琶湖線(東海道本線)「膳所」駅より徒歩約15分または京阪電車のりかえ「石場」駅より徒歩約3分

滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15番1号
Tel.077-523-7133(代)
<https://www.biwako-hall.or.jp/>